

半布里

富加町立富加小学校 校長 小森 明彦
 TEL 0574 - 54 - 3303 児童数309名
 2017年3月17日発行 学校だより特別号

平成28年度 富加小学校教育活動の成果と課題

～児童・保護者アンケート、職員の自己評価結果より～

心地よい春風が吹く季節となり、今年度も、23日の卒業式、24日の修了式を残すのみとなりました。保護者の皆様には、今年一年、富加小の教育活動にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

平成28年度は、校舎屋上、ベランダ等の大規模な改修があり、安全な教育環境の整備が進みました。またPTA活動では、大きな組織改革が進み、来年度以降、より一層機能的・効果的な活動が展開されることと思います。

さて、本校では、職員が自己評価を行ったり、児童や保護者の皆様にアンケートをとったりして、本年度の教育活動を振り返り、それらに基づいて来年度の教育活動計画の作成を行っています。また、学校評議員の皆様にも評価を頂き、指導の改善に努めてまいります。

今年度の教育評価の結果と、それに基づく来年度に向けた取組について、以下の通りご報告いたします。

※「加重平均」による達成率の算定

※ 達成率を 評価点とその人数を乗じた数の和を 全員が最高評価点を出したときの数値の割合で求めた。

$[4 \times (4点の人数) + 3 \times (3点の人数) + 2 \times (2点の人数) + 1 \times (1点の人数)] \div (4 \times 総人数) \times 100$

4：実践し、成果が上がっている 3：実践し、成果が上がってきている

2：実践しているが、成果が不十分 1：実践が十分でなく成果がない

達成率

＜学習指導＞ わくわくする授業、 よく分かる授業の創造	職員	① 読む「聞く」「書く」「話す」などの基礎的な力がついている。	70.6%
		② 自ら考え、自ら学び、意欲的に楽しく学習を進めている。	66.2%
		③ 少人数指導等による、個に応じた適切な指導が行われている。	73.4%
	児童	① 毎日の授業は、よく分かりましたか。	84.8%
		② 漢字や計算の学習に努力することができましたか。	86.0%
	保護者	① お子さんは、授業の内容をよく理解していますか。	77.1%

○「毎日の授業がよく分かる」、「漢字や計算の学習に努力できた」と回答している児童が、ほぼ85%となっている。

▲職員、児童、保護者ともに、ほぼ昨年度と同様の結果だが、児童の評価と比較し、職員の評価が低い。原因として、児童は「分かっているつもり」でも、職員から見れば、「理解し切れていない」という、実態と認識のズレが生じている。

・学校評議員の方からは、「職員の評価が低いのは、向上心をもって取り組んでいる結果」「先生方はもっと自信をもって臨んでほしい」等、ご意見を頂きました。

◎今年度は、「市町村・大学連携指導改善プロジェクト」事業を受け、年4回にわたり教職大学院准教授を招き、算数科の授業改善について、全教職員で研修・研究に取り組んできました。来年度も、算数科の授業研究を核にし、研究内容をより精選し具体化しながら、「自ら学び、確かな学力を身につける富加の子」をめざしていきます。

<道徳・特活> 仲間とよりよく生きるための人間関係の醸成	職員	④	道徳の時間の指導の充実により、一人一人に思いやりの心が育っている。	67.6%
		⑤	「よいところみつけ」や異年齢集団活動等により、温かい人間関係がつけられている。	75.0%
	児童	③	時と場を考えたれいぎ正しい行動ができましたか。	82.3%
		④	友達や仲間の「よいところみつけ」をし、協力してなかよくすごすことができましたか。	87.3%
		⑤	楽しく学校生活をおくることができましたか。	88.9%
	保護者	②	お子さんは、学校生活を楽しく過ごせていますか。	87.6%

○「楽しく学校生活をおくることができている」の項目は、児童・保護者とも約87～88%の回答率となっている。
▲職員④「道徳指導の充実と思いやりの心の醸成」(67.6%前年比-12.4ポイント)、⑤「異年齢集団活動と温かい人間関係」(75.0%前年比-7.8ポイント)の項目が、低い評価となっている。(前年度の項目から、若干質問文を変更しているため、比較対象は難しい)

◎今年度は、学級や全校で「ピカビー」の取組を展開しながら、友達や仲間の「よいところ」を認め合い、温かい人間関係づくりを大切にしてきました。来年度は「特別の教科道徳」の実施に向けて、授業研究や校内研修を位置付け、道徳教育の充実を図っていきます。325名の全児童と保護者の方が、「学校生活が楽しい」と言える学校をめざしていきます。

<健康・安全> 健康で安全な生活習慣の育成	職員	⑥	交通ルールを守り、安全に登下校できる。	69.4%
		⑦	安全教育や情報教育の充実により、自ら危険を回避できる。	68.1%
		⑧	仲間と共に、進んで運動や遊びができる。	77.8%
		⑨	給食指導・食育を通して、好き嫌いなく残さず食べられる。	89.7%
	児童	⑥	分団の友だちと一緒にルールを守り、安全に登下校できましたか。	88.5%
		⑦	自分で危険なことに気づき、気をつけて生活ができましたか。	91.9%
		⑧	体育や青空の時間には、進んで運動したり遊んだりできましたか。	89.2%
		⑨	栄養バランスを考え、マナーを守って残さず給食を食べましたか。	90.5%
	保護者	③	お子さんは、自ら危険を回避し、安全な生活をおくることができているですか。	81.5%
		⑤	お子さんは、家庭で進んでお手伝いできていますか。	70.7%

○健康安全について、児童は全体的に高い回答率となっている。家庭でのお手伝い(保護者⑤)についても、前年比+3ポイントと、やや上昇している。
▲職員⑥「安全な登下校」(69.4%、前年比-8.7ポイント)、⑧「安全教育・情報教育の充実と危険回避」(68.1%、前年比-3.8ポイント)の項目が低い評価となっている。

◎今年度は、学級指導の充実を図りながら、安全指導・情報教育等、自ら危険回避できる児童をめざしてきました。来年度は、さらに「安全な登下校」をめざし、通学班指導をきめ細かく進めていきます。

学校図書館の積極的な利用	職員	⑩	読書指導・図書館利用指導を通して、進んで本を読んだり、本で調べたりしようとする。	63.2%
	児童	⑩	進んで本を借りて、たくさん本を読むことができましたか。	78.1%

○▲読書(図書館利用)について、低・中学年は比較的高い回答率となっている。学年が上がるにつれ、回答率は下がっている。(低86.2%、中77.1%、高67.4%)

・学校評議員の方からは、「めあて冊数や感想文など、結果だけを求めるのではなく、自由に本を読める空間を大切にしながら、読書が楽しいと言える子をめざしてほしい」等、ご意見を頂きました。

◎今年度は、1学期から計画的に「お薦めの本」を紹介したり、調べ学習の利用を行ってきました。来年度は更に積極的な図書館利用と読書指導を進めるために、高学年の児童にも図書館に本を借りに行く時間をできるだけ確保できるよう、休み時間のあり方を改善します。

<3つのじまん活動> ①気持ちのよいあいさつ ②ぴかぴか掃除 ③明るい歌声	職員	⑪	進んで気持ちのよいあいさつをしようとする。	76.4%
		⑫	静かにすみずみまできれいに掃除をしようとする。	79.2%
		⑬	明るく元気な歌声で歌おうとする。	79.2%
	児童	⑪	進んで気持ちのよいあいさつができましたか。	89.5%
		⑫	だまってすみずみまできれいに掃除をすることができましたか。	84.7%
		⑬	明るく元気な声で歌うことができましたか。	91.0%
保護者	④	お子さんは、家庭や地域で進んで気持ちのよいあいさつができていますか。	78.6%	

○「3つのじまん活動」については、特に児童⑪「あいさつ」(89.5%、前年比+3.4ポイント)、⑬「歌声」(91.0%、前年比+6.4ポイント)が高い回答率となっている。

▲家庭や地域でのあいさつがやや課題である。保護者④(78.6%、前年比+0.6ポイント)

◎今年度も、「3つのじまん活動」を、学習、生活、特別活動の各指導部の重点項目として「じまんでできる自分・学級・学校づくり」を進めてきました。来年度は、全校歌声タイムを計画的に位置付け、さらに明るく元気な歌声づくりをめざします。

<生徒指導> 共感的理解に徹し、自己指導能力を育てる生徒指導	職員	⑭	教育相談週間やQ-U等を通して、予防的教育相談の充実に努めている。	76.5%
		⑮	児童一人一人に寄り添う温かさと、愛情に裏付けられた厳しさをもって、生徒指導にあたっている。	76.4%
	児童	⑭	相談やなやみごとなどがあるときには、先生たちや家族・友だちに相談できましたか..?(ない場合は/)	81.4%
		⑮	間違ったことをした時には、先生たちはちゃんと注意してくれましたか。(ない場合は/)	92.5%
	保護者	⑥	学校の教師は、お子さんの話(悩みごと、相談など)をよく聞いていると思いますか。	80.6%
⑦		学校の教師は、善悪の行動に対して、はっきりとした指導ができていますか。	83.5%	

○「教師は善悪の行動に対して、はっきりと指導(注意)する」(児童⑮92.5%、保護者⑦83.5%)の項目で、ほぼ昨年並みの高い回答率となっている。

▲「予防的教育相談」(職員⑭76.5%、前年比-3.2ポイント)の回答率が、やや下降している。

◎今年度は、教育相談週間やQU検査だけでなく、日常の学校生活全般を通して、児童への共感的理解に徹する生徒指導体制を重点にしてきました。来年度は、健康安全教育(保健指導)とも関連づけながら、児童の心身の健康づくりを進めていきます。

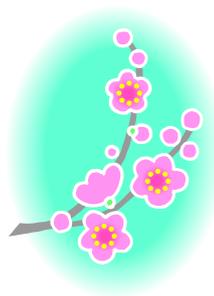
<地域に開かれた学校> ①説明責任 ②理解・協力・連携 ③共通理解・保護者対応 ④安全・安心	職員	⑯	教育方針や教育活動の様子を、懇談会や学校・学年だより、HP等を通して分かりやすく伝えている。	73.6%
		⑰	地域や保護者の方の協力を得ながら、地域のよさを生かした教育活動をしている。	75.0%
		⑱	保護者や地域の方に、明るい挨拶や丁寧な話し方、対応を心がけている。	79.2%
		⑲	管理が適切になされ、安全で学びやすい環境になっている。	73.6%
	保護者	⑧	学校は、教育方針や教育活動の様子などを、懇談会や学校・学級だより、ホームページ、町広報などで、分かりやすく伝えていますか。	86.4%
		⑨	学校は、明るい挨拶や丁寧な話し方・対応(訪問・来校時・電話等)をしていますか。	89.2%
⑩		学校は、安全で学びやすい環境になっていますか。	87.8%	

○保護者⑧⑨「学校からの情報公開、丁寧な対応」は高い回答率となっている。(ともに前年比から微増)
 ▲職員⑱「丁寧な対応」(79.2%、前年比+11.4ポイント)、職員⑲「安全管理」(73.6%、-7.7ポイント)は、昨年度から下降している。

◎今年度は、屋上やベランダ等の校舎改装など、「安全・安心できる学びやすい富加小」をめざして教育環境を整えてきました。来年度は、学校からの情報発信、懇談会への参加呼びかけなど、より一層、学校と家庭の関係づくりに努めていきます。

絆の日の取組	職員	⑳	「絆の日」の取組は、生命を大切にしたり、守ったりする意識の高揚につながっている。	84.7%
	児童	⑯	絆の日にかかわる学びを通して、自分の命を大切にすることや、仲間を大切にしようとする気持ちが高まりましたか。	93.2%
	保護者	⑪	学校は、命を大切に教育(絆の日の取組など)を実践できていますか。	86.2%

◎今年度は、「絆の日」と「3つのじまん活動」を関連づけながら、決して形骸化することなく、「自他の生命を尊重し、思いやりの心を育む取組」として、全教育活動に活かしながら取り組んできました。
 来年度は「絆の日」の取組を、健康安全指導の年間指導と関連づけながら、命を守る訓練や学習の充実を図っていきます。



保護者の皆様、地域の皆様のおかげをもちまして、今年度も多くの成果を残すことができました。また来年度への課題も明らかになってきました。

来年度は、新しいPTA組織のもと、学校と家庭の関係づくりを一層深めていきたいと考えています。授業参観や懇談会に、一人でも多くの保護者の方々にご参加頂けるよう、魅力ある授業、教育活動をめざしていきます。